

株式会社 セブン&アイ・フードシステムズ

『認知症バリアフリー』への取り組み



デニーズってご存じですか？



関係者限り



グループ会社一覧 (50音一覧)

SEVEN & i GROUP



グループ売上
17兆7,899億円



連結従業員数
157,177人



1日当たりの総来客数 (国内)
約2,230万人



店舗数 (国内)
約22,800店舗



1日当たりの総来客数 (世界)
約6,306万人



店舗数 (世界)
約85,800店舗

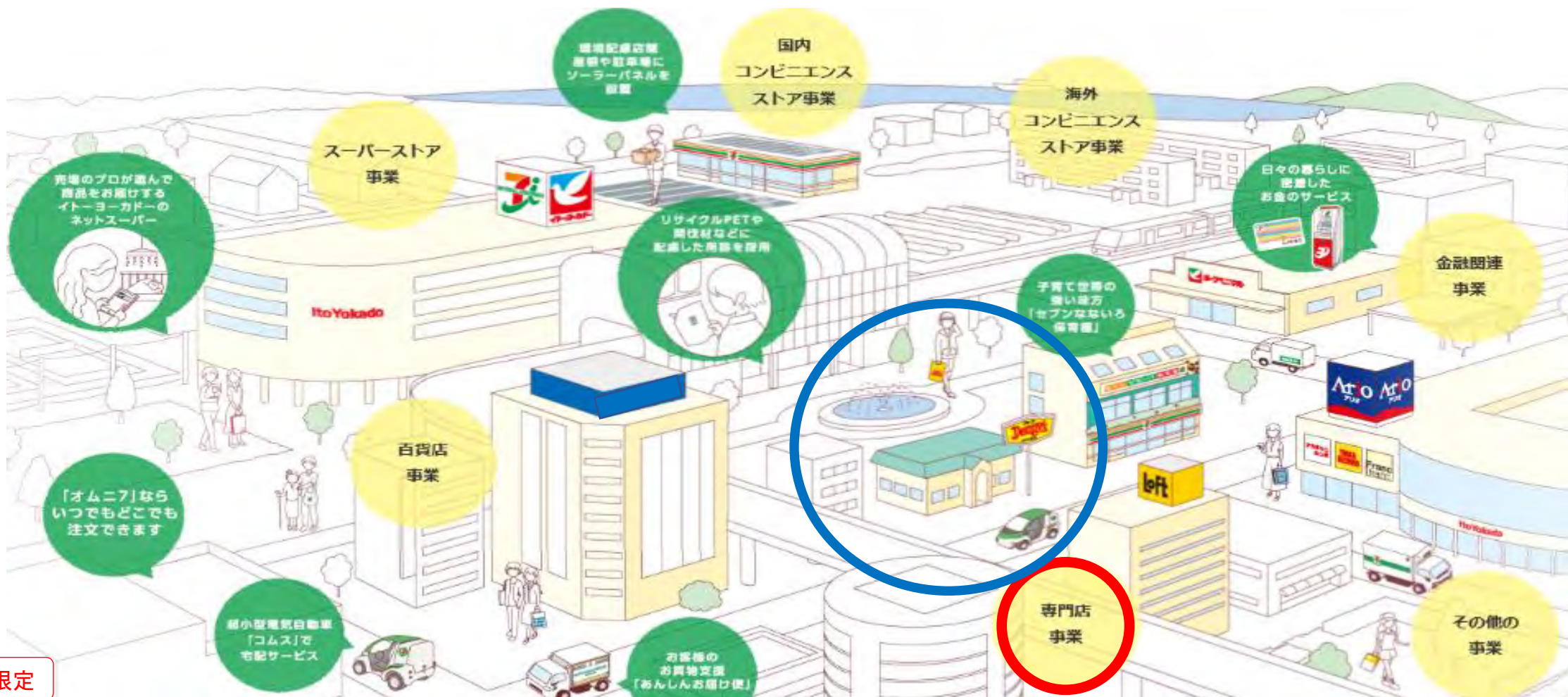
企業紹介



ひと皿に豊かな明日を

セブン&アイ Food Systems

セブン&アイグループのフードサービス部門を担う事業会社



関係者限定



株式会社 セブン&アイ・フードシステムズ
総務部 サステナビリティ推進総括マネジャー

牧野 晋也(48歳)

※写真は25年前！25年で25kg体重増えてます！

経歴

- ・1999年入社～ 営業畑で生きてきました。お店で調理、接客の日々。
- ・2012年～ デニーズ ディストリクトマネジャー(地区マネジャー)
- ・2015年～ 商品開発総括マネジャー
兼)デニーズリブランディングプロジェクトリーダー
- ・2019年～ 7FSユニバーシティ(社内大学)立ち上げ
2022年 学長就任
- ・2023年～ デニーズ営業部 第1ゾーンマネジャー
- ・2024年10月～ 現職



セブン&アイ・フードシステムズは、ミッション『ひと皿に豊かな明日を』を定めています。
『豊かさ』を提供する対象は「お客様だけでなく**全てのステークホルダー**」であり、「物質的な豊かさだけでなく、**精神的な豊かさ**」も提供しつつ、「今だけでなく将来にわたる豊かさ」を追求していくことが重要であると考えています。(弊社HPトップメッセージ抜粋)

2017年代表取締役小松の就任以来、リアル店舗を持つ企業の役割として、地域の皆様へ「豊かさ」をお届けすることをミッションに取り組みを推進しております。

行政との連携を通じて安全・安心な社会づくりを推進

地域連携
認知症本人ミーティング
食育スクール

フードバンクへの
食品寄贈

キャリア支援
職場体験学習



「豊かさ」をお届けしたいという想いを具体的に行動に！
2024年4月 認知症バリアフリー宣言をさせていただきました。

セブン&アイ・フードシステムズは、**店舗を活用したコミュニティの場を提供**し、地域の拠点としての役割を果たすことで、地域になくてはならない存在の実現を目指しています。

地域共生社会の一員として認知症への理解を深め、従業員の適切な接客応対などのサービス提供とともに、自治体や各種団体、地域住民との連携を図り、**外出しやすい環境を整えます**。

認知症の当事者やそのご家族の視点を大切にしながら、**認知症になっても希望を持って自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し**、ステークホルダーと連携により新たな価値を創造していきます。

2015年

認知症サポーター養成を開始

NPO法人全国キャラバン・メイト
連絡協議会講師による養成講
座を受講し「キャラバン・メイト」
の資格を修得

「キャラバンメイト」養成 27名

「認知症サポーター」養成
累計 1,601名養成
(現資格保持者 862名)
2023年10月末時点



2018年

地域包括連携協定締結の推進



2017年 東京都足立区
2018年 東京都大田区
2018年 千葉市・市原市・
四街道市の3市広域連合

「災害時支援」「子育て支援」「高齢者見守り」「住民の健康づくり」「産業・観光振興」などの活動を地域社会とともに推進するため、自治体と地域包括連携協定の締結。

2020年

認知症本人ミーティングの開催

2020年 1店舗(千代田区)
2021年 2店舗(品川区/大阪府堺市)
2022年 1店舗(埼玉県鶴ヶ島市)
2023年 11店舗にて開催拡大
千葉県千葉市
千葉県市原市
埼玉県川口市
埼玉県ふじみ野市
愛知県瀬戸市
愛知県大府市(物忘れ相談所)
東京都江戸川区
東京都大田区
2024年 6店舗にて開催拡大
東京都豊島区
(2025年1月 大網白里市実施予定)

計13自治体20店舗まで拡大

認知症本人ミーティング開催に至った経緯

① 2020年春 千代田区から開催希望をいただく

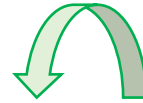
「千代田区で実施している認知症本人ミーティングは、日常生活では訪れることの少ない区の施設の会議室で行っていて参加者の方が自ら発言することが少ない」という課題を持っていました。



弊社
担当者



千代田区
担当者



弊社
担当者



堺市
担当者

③ 品川区から同様に開催希望をいただく 2自治体目の開催が実現する



弊社
担当者

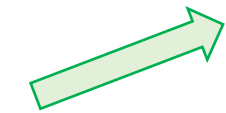


品川区
担当者

④ コロナ禍でもお話を聞いてくれるのでは？と地域包括 協定を結んでいる自治体へ連絡



弊社
担当者



東京都
足立区



東京都
大田区

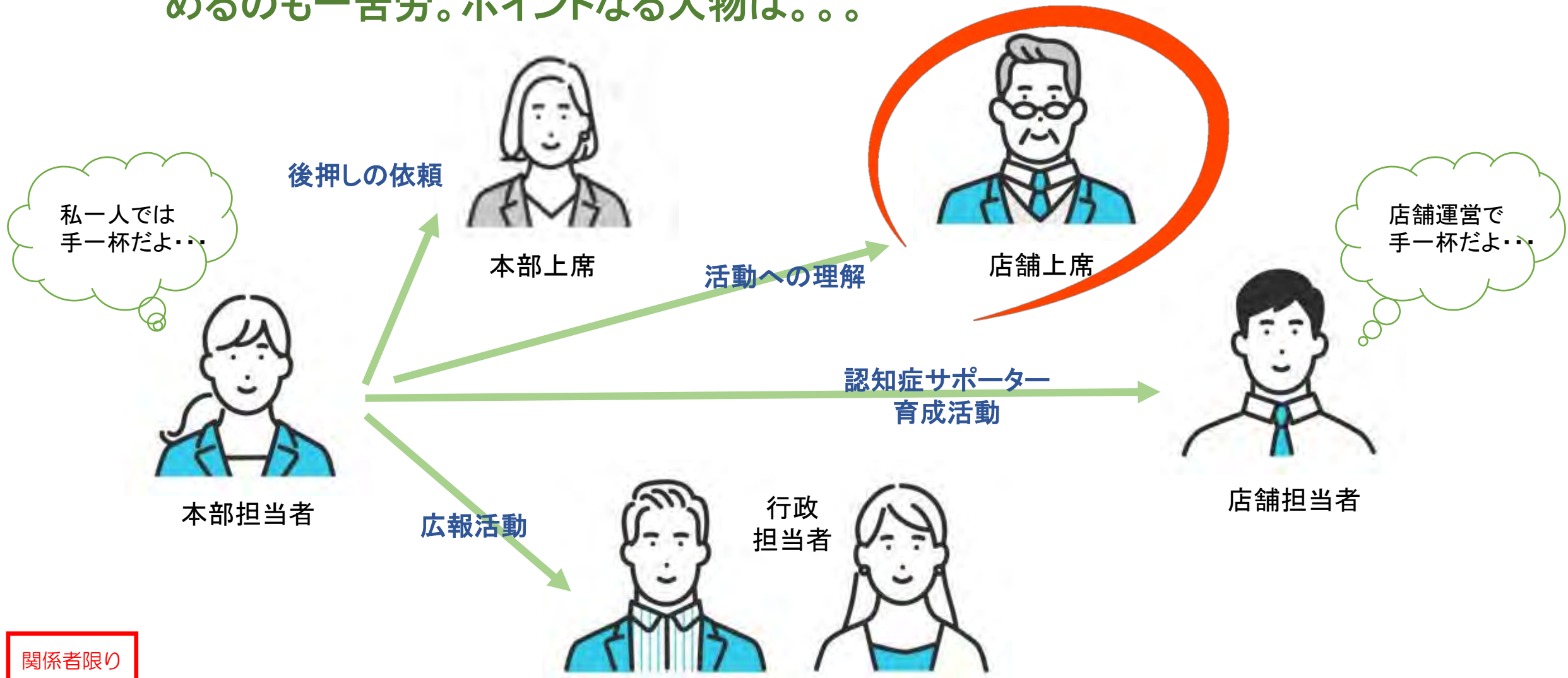


千葉市・市原市
四街道市



2015年から各店舗に「認知症サポーター」を配置出来るよう取り組んできましたが、具体的な貢献はあまり出来ていませんでした。
なぜ、進まないのでしょうか？

本部の担当者が多く配置されているわけではない中で、社内の理解を進めるのも一苦労。ポイントなる人物は。。。



関係者限り

市原市の成功事例



前列:市原五井店 谷店長 熊野さん 佐藤さん
後列:市原市役所、地域包括支援センターのみなさま

美味しいものを食べながら
お話しするのは誰でも楽しい！



- 三つの地域包括支援センターが合同で開催
- 市原市役所の強固なサポート

某自治体の事例



今まで、会議室などで開催してきましたが、ご本人のみなさまの会話は弾まず、ほとんどお話しにならないままお帰りになる方もいたんです。
デニーズでデザートを食べながら開催した今回は、●●さんがほんとはよくお話してくれて…

関係者限り

地域包括センターのご担当者様から涙ながらに御礼を頂くこともありました。

オレンジイノベーションプロジェクトへの参画



当事者参画型開発の取組み



当事者

- 社会参画の機会や自己効力感の向上の一つとなる
- 欲しいものが入手しやすくなる

企業

- 潜在的な利用者・顧客のニーズを把握して開発ができる

当事者の真のニーズに合致する
質の高いソリューションの創出

「共生社会」実現への貢献

『外出しやすい環境を整える』 我々、レストランが配慮できることはないかを学ぶ。

2024年11月26日(火) 13:00-14:00 デニーズ大井町駅前店にて
第1回 「レストランでの困りごと」をテーマに当事者対話会を開催



メニューをもっと選びやすく
出来ないかな?!

デニーズだけでは、貢献の「機会」が作れない。行政だけでは、「有効な場」が作れない。双方で力を合わせることで、より認知症当事者の方々が生活しやすい環境づくりに繋がられるのではないのでしょうか。



関係者限り

ご清聴ありがとうございました。

我々、セブン&アイ・フードシステムズは「ひと皿に豊かな明日を」提供出来るように、引き続き取り組みを推進してまいります。